「希望に満ちあふれた一年に」

上田市が仕事始めの式

冒頭であいさつを交わした職員

上田市は5日、令和8年の仕事始めの式を上田市役所で行い、土屋陽一市長は「希望に満ちあふれた一年にしたい。市民のため共に働いてまいりたい」などのあいさつを行った。

大会議室には多くの市職員が集まり、冒頭1分間で互いに年始のあいさつを交わした。

土屋市長は年頭のフレーズとして「寛容と対話」を取りあげて「広い心で異なる意見に対しても受け止め、対話を重ねることで理解を深めていく。昨年は資源循環型施設の建設地決定に向けても、異なる意見がたくさんあったが、それぞれ担当職員も含めて、異なる意見を受け止めて前に進んできた。寛容と対話を大切にしたい」。

直面する課題については「資源循環型施設では建設地は決まったが、業者選定、周辺のまちづくり、地域振興策を進めなければならない。水道広域化についても基本計画は合意をさせてもらったが、これについても速やかには進まない大きな事業。上流の上田市で市民のため、持続する水道事業を進めることが大切。どんどん進めるのではなく、さまざまな意見があることを受け止めることが大事」とした。

国の物価高騰対策については、市民一人ひとりへの商品券的なものを配布するため、全庁的に進めるとした。

琥珀色の季節 Ⅲ ⑤

拓海　翔

時折、診察を終えて戻ってくる女性たちの顔が見える。彼女たちの表情を、直美は観察している。

表情が曇っていると、少し心が痛む。そして、わずかに笑顔を浮かべた女性を見かけると「もしかしたら、うまくいったのかもしれない」と、ほんの少しだけ希望を持とうとする。

順番が近づいてきたとき、直美は小さく息を吸い込んだ。

体が強張り、胸の鼓動が少しずつ速くなる。ここにくるたびに、意志が試されているように感じる。

不妊治療を始めた頃の望みある思いは薄れ、痛みと失望に心が削られている。

それでも、ここにいるのは、わずかな希望が完全に消えていないからだ。

名前を呼ばれ、直美は立ち上がる。

診察室のドアを開けると、医師が待っている。

その表情は、どこか柔らかく落ち着いているが、その冷静さが、逆に直美には重く感じられる。

診察台に座り、彼の説明を聞きながら、直美は、ただ無言で頷く。

言葉を交わすたびに、「いつまで治療を続けなければならないのか」という思いが膨らむ。

それでも、次の治療の話になると、心のどこかで「今度こそ」という淡い期待が顔を出す。

診察を終え待合室へ戻ると、少し緊張が解けた。

数週間に一度のホルモン注射は、苦痛そのものだ。注射針が皮膚に刺さるたびに、直美の心は少しずつ砕けていく。

医師からは、不妊治療の効果を高めるための処置と説明されているが、直美にとっては、身体をいじめているだけに感じられる。

時には、腹痛や吐き気が生じ、イライラした気分となり、不安感が強まる。

やや腫れた腕には無数の痣が増え、それが、心の痛みと重なるようだ。

しかし、やめるわけにはいかない。

時折、周りの人から「もう、諦めた方がいいんじゃないか」と助言されることもある。

それを聞くたびに、直美は無理に笑顔を作り「そうかもしれないわ」と答える。

しかし、心では叫んでいる。

「私は、まだ諦めていない」

大王わさび農場5代目

深澤さん「自分らしく前へ」

障がい乗り越え 立て直す

まるこ福祉会で初講演

講演する深澤さん

上田市長瀬の社会福祉法人・まるこ福祉会（柳澤正敏理事長）はこのほど、安曇野市の大王わさび農場を経営する㈱大王の深澤大輔社長（42）の初の講演会をまるこ福祉会きらりホールで行った。

当初は農場の後継者になる予定はなかった深澤社長は、1983年安曇野市生まれ、都内の大学で学び、靴職人を目指してロンドンに留学、帰国後にフリーランスで靴の仕事をしていたが、2011年に原因不明の脊髄梗塞を発症して足が動かなくなり、リハビリは続けているが普段は車いす生活に。後継者の兄が退職したため、2017年から栽培や簿記を学び、2019年に安曇野市にUターン、2020年から5代目の代表取締役社長に就任。ハンディーを負った身でも、大変な状況だった経営、減少していた栽培量を立て直している。

まるこ福祉会では、施設の利用者に、障がいを持ちながらも懸命に前進する社長から人生の生き方について話を聞いてもらおうと講演を依頼。深澤社長にとって初めの講演会になった。

講演では、大王わさび農場の概要を説明しながら、自らの生い立ちを語り、脊髄梗塞を発症した時は「人生終わった」と絶望の中で長い入院生活を過ごしたという。会社の立て直しに苦労し、外部の人に解決策を求めるが解決に至らなかったことも経験。「上手くいかなくても、自分を卑下することなく（自分を攻撃することなく）、自己肯定感を抑えず、自分のことを大事にしてほしい。困った時に人に聞くのは悪いことではないが、結局、決めるのは自分自身。自分の意思や感情を尊重することが、後悔しない人生につながると思う。28歳で本当に人生が終わったと思ったが、まさか皆さんに自分の経験の話をする機会が来るとは思っていなかった。車いすになった時は焦りましたが、焦ると失敗するので、焦らず自分らしく一歩ずつ前へ進めば、人生が豊かになると思っている。自分自身も仕事が楽しくなり、人生が楽しくなった」と話していた。

参加者で合唱のプレゼント

柳澤理事長は「人間には無限の可能性があることを勉強した」と礼を述べ、来場者は合唱をプレゼントした。最後に全員で三本締めを行った。

市町村長

きょうの主な予定

◇小諸市長
■午前9時半　議員全員協議会
■午後4時　庁内打ち合わせ
◇長和町長
■午前8時40分　住民生活課打ち合わせ
■同9時　総合政策課打ち合わせ
■同10時　長野県土地改良事業団体連合会東信営業所長来庁
■同11時　上田地域シルバー人材センター理事長来庁
■同11時半　依田窪福祉会理事長来庁
■午後1時　町議会全員協議会
◇青木村長
■道の駅あおき仕事始めの式
■信州上小森林組合あいさつ
■上田ケーブルビジョンあいさつ
（日程は変更・中止となる場合あり）

毎月第2土曜日は
ちり紙交換の日
新聞・雑誌・段ボール等の古紙
10kg単位で交換します。
次回は1月10日
9:30～10:30
まずはお立ち寄りください
機密文書の裁断サービス始めました
紙のトータルアドバイザー
田辺商事株式会社
上田卸団地内■電話 0268-22-6155

ご購読申し込みは●読売上田サービス℡0268(38)7227●佐藤新聞店(上田市上丸子)℡0268(42)2223か東信ジャーナル社へ

お出掛け前も、出掛けた後もピカピカ★
おすすめパック
①ルームクリーニング(室内バキュームのみ)②除菌・抗菌・消臭 ③撥水コーティング
ボディーコーティングをどうぞ!!
気になるキズ・ヘコミ
すばやくコンピューター見積で
安心!!
車検
▶当社で車検をおまかせいただければ次回車検までお車の洗車は当社の洗車機を無料でお使いになれます。
安心です。おまかせください!
へこんだらカーコン カーコンビニ倶楽部 上田神科店
0120-021723
TEL.0268-23-1723 FAX.0268-25-7323
上田市大字古里132-6
(有)丸山自動車商会